

平成28年度医学部看護学科入学者選抜

(3年次編入学)

試 験 問 題

外 国 語 (英 語)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は2枚です。指示があってから確認してください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 問題紙は持ち帰って下さい。

問題 次の英文はある患者が自身の闘病の様子を記したものである。英文を読み、問いに答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(Journal of Family Nursing, 2013 一部改変)

注： frequent flyer 頻繁に飛行機を利用する人
hysterectomy 子宮摘出(術) invincible どんなことにも打ち負けない
postoperative 術後の pelvic 骨盤の
high-grade carcinoma in situ of the bladder 高悪性度の膀胱(の)上皮内がん
propensity 傾向 remission (痛みなどが)和らぐこと、寛解
interstitial cystitis (IC) 間質性膀胱炎
urinary-tract infection 尿路感染
pyelonephritis 腎盂腎炎 ureteroscopy 尿管鏡検査
cystectomy 膀胱切除 urinary diversion 尿路変更術
hemorrhage 出血

- 問1. 下線部(1)の内容を日本語で述べなさい。
問2. 下線部(2)の具体的な内容を日本語で説明しなさい。
問3. 下線部(3)を日本語に訳しなさい。
問4. 下線部(4)の具体的な内容を日本語で説明しなさい。
問5. 空所(A)、(B)に入る最も適切な語(句)を選択肢から選び、アからエの記号で答えなさい。
(A) ア Luckily イ Fortunately ウ Unfortunately エ Happily
(B) ア For example イ As a result ウ However エ Frequently
問6. 下線部(5)を日本語に訳しなさい。
問7. 下線部(6)を「この手術を経験することは、私がこれまでしないといけなかったことのなかで最も過酷なことでした」という意味になるように()内の語を並べ替えなさい。
問8. 下線部(7)を日本語に訳しなさい。
問9. 下記の①～⑥の記述で、本文の内容に一致するものには○印を、そうでないものには×印を、解答欄に記入しなさい。
① 筆者が最初のがんと診断されたのは20歳の時だった。
② 筆者は、二人娘がいて、地元で大学の講師をしていた。
③ 筆者は、がんの再発後、化学療法や免疫療法を受けたが、外科手術の必要はなかった。
④ 間質性膀胱炎に効果的な治療法はいくつかあった。
⑤ 筆者は慢性痛により、競争競技への参加や旅行の夢などをあきらめねばならなかった。
⑥ 筆者の膀胱を切除し、尿路を変更する手術は、長く複雑な手術だったが、その後の回復には時間がかからなかった。